

木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業 概要説明（鹿児島県肝属郡錦江町）

1. 事業概要

事業名	錦江町木質バイオマス資源利活用計画策定事業
検討対象設備等	温浴施設や施設園芸ハウス等における木質バイオマスボイラーまたは木質バイオマス熱電併給設備の導入
平成30年度 補助金交付予定額	14,998,000円
事業内容	本町の森林面積12,281haのうち、国有林が5,386haで、民有林は6,895ha（うち町有林987ha）であり、そのうち、35年生以下の保育及び間伐を必要とする林分が933haと約19%を占め、今後も間伐を適切に実施していく事が必要であり、町内における森林組合や林業事業体が増産に高い意欲を示しており、町内事業者等による育林及び素材生産、製材組合や製材業者による木材生産が今後活発化していく事が予想される。 本事業においては、地域における木質バイオマス賦存量並びに利用可能量の調査を行い、集材規模に応じた「木質バイオマスボイラー（数100kWth～）」あるいは「木質バイオマス熱電併給設備（数100kWe～2,000kWe程度）」を町内既存公共施設（トロピカルガーデン神川、大根占錦江園等）、施設園芸施設、廃校跡地あるいは町内未利用地等に導入し、エネルギーの地産地消を促進する導入計画を策定するものである。 また、当該設備を導入することにより、公共施設あるいは園芸施設等の既設ボイラー等の代替を図り化石燃料の使用量を削減すると共に、新規のバイオマス熱供給事業または熱電併給事業を実施することにより、エネルギーの地産地消を促進し二酸化炭素排出量の低減を図りつつ、町内に新規事業体を設立する事で新規雇用の促進や木質バイオマス関連産業の育成を目指すものとする。
設備導入時期	平成31年度 基本設計、平成32年度 建設工事着工、平成33年度 設備完工、事業開始を予定（平成33年度までに導入予定）
CO2削減効果	錦江町全域で▲564（t-CO2/年）以上の削減効果が見込まれる。 [トロピカルガーデン神川：▲115（t-CO2/年）、大根占錦江園（養護老人ホーム）：▲71（t-CO2/年）、施設園芸施設（ビニールハウス、トマト、10a当たり）20棟：▲378（t-CO2）]
生物多様性保全効果	本事業を実施する事により、適切な間伐・主伐が進むことで、森林の再生、生物多様性保全効果、木材需要の拡大が期待できる。また、本町に分布する天然保護区域である「照葉樹の森」の保全効果も期待され、グリーンツーリズムや、県内の小中学生を対象とした「自然まるとツアー」・環境教育の場として一層の活用が期待される。